

「日本の魚類学の発展の歴史 －誰が初めて日本の魚を世界に 紹介したか？－」

講演者 今村 央 博士

北海道大学水産科学研究院 教授
*専門は魚類体系学、とくにカサゴ類
の系統、コチ科の分類

2018年10月24日（水） 16:00~17:30

高知大学理工学部2号館6階第1会議室

現在、日本から多くの魚類が知られています。では、初めて日本産魚類を世界に紹介したのは誰でしょうか？そして現在ではその数はいったい何種に増えたのでしょうか？本講義では日本の魚類学の発展の歴史を紹介します。歴史には学ぶ点が多くあります。今後の研究の発展のヒントにして下さい。



BSKU 94127 高知大学理工学部所蔵標本

日本人なら誰でも知っているこの魚、実は外国人研究者が初めて世界で紹介した日本産魚類の1種です